



校章の由来

ミカンの実を学校の中心に

葉の緑は 強さ
白い花弁は 正しさ
黄色い果実は 美しさ
を表す。



校歌

- | | | |
|--|---|--|
| 1 朝日をあびて 紫におう
火山の峰を はるかにあおぎ
希望にもえて この学び舎に
つどうはらから 尾立の健児 | 2 八剣神の 守りは尊
強い体に けだかい心
正しい知識を とどもみがき
おおしくたけく のびゆくわれら | 3 校歴すでに 百余年
古き伝統 受けつぎ立ちて
明るいゆく手に 正義の旗を
高くかざして いざいざゆかん |
|--|---|--|

沿革史

明治 7年 6月 1日	阿弥陀堂に設置し益習舎という
明治 9年 4月 1日	尾立小学校と改称する
昭和 51年 1月 28日	新校舎完成・落成式
平成 14年 2月 13日	中国四川省自貢市貢井区教育視察団来校
平成 17年 3月 20日	倉橋町が呉市に合併され、呉市立尾立小学校となる。
平成 19年 7月 11日	ふれあい交流事業実施（呉中央小学校と交流、会場：桂浜海岸・呉二河球場）
平成 21年 11月 14日	呉市立尾立小学校地域公開研究会・学習発表会
平成 22年 11月 16日	呉市立倉橋東中学校区小中一貫教育研究会
平成 23年 5月 15日	呉市立倉橋東中学校区保・小・中合同運動会
平成 23年 10月 23日	呉市立倉橋東中学校区小中合同学習発表会
平成 23年 10月 26日	呉市小学校連合音楽会
平成 24年 5月 13日	呉市立倉橋東中学校区保・小・中合同運動会
平成 25年 2月 17日	閉校記念行事 学習発表会を実施する。
平成 25年 3月 16日	卒業証書授与式・閉校式を実施する。
平成 25年 3月 31日	呉市立尾立小学校閉校。

学校紹介

本校は、明治9年に倉橋町の南東部にある尾立地区に尾立小学校として開設され、南側には風光明媚な瀬戸内海の島なみや遠く四国の連山を眺めることができる。校区は、南側を瀬戸内海に面し、県道35号線の北側に広がっている。古くから漁業とミカン作りを主とする農業の町であり、最近は大規模なトマト作りに取り組んでいる農家も多い。

校区周辺では、他地域への人口流出に伴い高齢化・少子化が進んでいる。そのため、児童数の減少が続いており、平成17年度から完全複式学級となっている。児童は何事にも一生懸命取り組み、自分の目標に向かって精一杯頑張ろうとする素直さと粘り強さを持っている。また、高学年を中心にまとまっており、みんな仲良しで元気である。

地域住民は、高齢者が多く、地域としてのまとまりが強い。また、おだやかな気質で、人情味あふれ、学校に対する愛着と理解があり、学校教育を支える大きな力となっている。

本校は、小規模校の特色を生かした教育活動に取り組んでいる。基礎的・基本的な学力の向上を目指し、一人一人を大切に、少人数指導のよさを生かした研究を進めている。そして、呉市立倉橋東中学校区では、昨年度より研究教科等を「道徳」に統一して、研究を進めている。小・中学校3校が積極的な連携をとり、9年間の連続した学びが充実するように考え、子どもたちに「確かな学力」と「社会性」を身に付けさせるために、小中一貫教育を進めている。また、3年前より、全校児童で百人一首の暗唱発表に取り組んでおり、五色百人一首広島県大会にも参加した。また、昨年度は、呉市連合音楽会に参加し、全校児童9名が一つになり、ホール中に響き渡る歌声を披露し、たくさんの方々からすばらしい評価をいただいた。児童は「少人数でも、やればできる。」という自信と達成感を味わうことができた。他にも、全校児童で一輪車乗りに挑戦し運動会で成果を発表するなど、学習や運動などいろいろなことに挑戦し、「わかる」喜びや、「できた」という達成感等を大切に教育に取り組んでいる。そして、尾立の豊かな自然と伝統・文化を生かしながら、地域と連携した特色ある教育活動を進めている。

平成24年度学校教育目標

「夢の実現に向け、挑戦・伸び続ける尾立っ子の育成」